

## 尾張都市計画道路1・3・2号名岐道路 環境影響評価準備書に関する説明会

- 1 とき 令和5年10月25日(水) 午後7時00分から午後8時50分まで
- 2 ところ 一宮市民会館 大ホール
- 3 参加者 61名
- 4 内容
  - 1)あいさつ
  - 2)環境影響評価準備書の概要説明
  - 3)質疑応答

### 【質疑応答要旨】

質問等要旨	回答要旨
現在の国道22号の振動はどのくらいで、供用後はどのくらいになるのか。	一宮市民会館の近くの地点では、現況は昼で51dB、夜で49dB。供用後は昼で51dB、夜で50dBとなる。
日照障害はどのように予測・評価しているか。	国の通達「公共施設の設置に起因する日陰により生ずる損害等に係る費用負担について」に基づき建物の2階で5時間という数値を参考としている。予測は住居が存在する位置で行い、現地調査は実施していない。 一宮市民会館の近くの予測地点では、名岐道路による日陰時間は東側で4時間未満であり、基準以内となる。
日照の事前調査に来てほしい。	環境影響評価手続の中では現地調査は実施しない。供用後、現段階で予測し得なかった環境保全上の問題が生じた場合は、「公共施設の設置に起因する日陰により生ずる損害等に係る費用負担について」に基づき適切に対応する。
工事中の責任の所在はどこにあり、どこに連絡すればよいか。	まずは一宮市まちづくり部都市計画課へ連絡いただければ、内容に応じて各機関等を案内する。

質問等要旨	回答要旨
<p>高架ができると、騒音が反響すると思うが、名岐道路本線に騒音対策はしないのか。</p>	<p>高架による音の跳ね返りも加味して予測を行っている。その結果、名岐道路本線に環境保全措置を行わなくとも基準を満足する結果となった。</p>
<p>国道22号に交差する東西方向の道路については、環境影響評価をしていないのか。</p>	<p>環境影響評価は名岐道路を対象として実施している。</p>
<p>都市計画に関する意見は言えるのか。</p>	<p>現在、環境影響評価準備書と共に都市計画の案も縦覧に供しており、意見書を受け付けている。</p>
<p>過去に名古屋市内の工事でも家屋被害が出ている事例があるが、今回は工事前に家屋調査を実施するのか。</p>	<p>現段階で事業者が未定であるため、明言はできないが、一般的には、工事の実施に伴い、影響が生じるおそれのある範囲に立地する家屋等を対象に、事前の家屋調査を行う。</p>
<p>大江用水横断 BOX 付近の盤下げの必要性はあるのか。</p>	<p>名岐道路は、現在の国道22号の幅の中で建設することを基本とした計画。現用地幅内で名岐道路の高架を設置するためには副道の廃止が必要。副道を廃止する場合、沿道との乗り入れを確保するため、国道22号の高さを沿道と同じ高さまで下げる必要があることから、横断ボックスを廃止する計画としている。これを行わない場合、沿道サービス用の道路が必要となり大規模な用地買収や家屋移転が必要となるため、現計画が望ましいと考えている。</p>
<p>今回、一宮 IC で追加する岐阜方向からのランプをアセス対象としていないのはなぜか。</p>	<p>一宮 IC 付近の名岐道路本線の車線は増加せず、ランプの新設であり、法アセスの対象事業規模には該当しないため、対象事業に含めていない。</p>

質問等要旨	回答要旨
<p>名岐道路ができると、野府川に排水される水が増えると思うが、水害対策はしてくれるのか。今後、説明はしてもらえるのか。</p>	<p>名岐道路及び国道22号の道路排水の計画については、その時点の最新の技術基準に基づき適切に対応していく。事業実施段階で事業者から説明する。</p>
<p>概ね環境影響には大きな影響がないので、事業を進めていく、ということについては異論ない。ただし、事業の詳細が決まる前に個々の意見を受け止める場所や機会はないのか。</p>	<p>今回、事業の前段の都市計画ということで、まだ詳細な設計を実施していない。今後、都市計画決定し、事業者が決まり、詳細な設計を行っていくことになる。皆様の意見を聞きながら、事業を進めていきたいと考えているので、理解願いたい。</p> <p>個別の相談については、まず一宮市まちづくり部都市計画課の窓口又は電話での問い合わせをしていただきたい。</p>
<p>国道22号の交通量は現況よりどうなるのか。</p>	<p>2割程度減少すると予測している。</p>
<p>名岐道路本線で遮音壁はやらなくても良いということか。</p>	<p>国道22号の排水性舗装の敷設、国道22号の中央分離帯などへの遮音壁の設置により環境基準を満たすと予測している。</p>
<p>工事中の騒音対策の防音パネルはどこに設置するのか。</p>	<p>予測地点1については、上部工の鋼橋架設に伴って設置する足場に防音シートまたは防音パネルを設置する。予測地点2については、準備工において、工事敷地境界付近に防音シートまたは防音パネルを設置する。</p>
<p>振動の工事用車両の評価で用いている、第1種区域と第2種区域の違いは何か。</p>	<p>第1種区域は、第1種低層住居専用地域などの住居系の用途地域。第2種区域は、近隣商業地域や準工業地域などの住居系以外の用途地域と市街化調整区域である。</p>
<p>現況の国道22号周辺は降雨時によく浸水する。名岐道路の工事に合わせて排水をしっかりとしてほしい。</p>	<p>名岐道路及び国道22号の道路排水の計画については、その時点の最新の技術基準に基づき適切に対応していく。</p>

質問等要旨	回答要旨
用地買収を伴う地区にいるが、近所は高齢者が多く、この説明会開催も知らない人が多い。個別に周知をしてほしい。	今後、町内会等を通じて周知する方法を講じていきたい。

(説明会配布資料)

・尾張都市計画道路1・3・2号 名岐道路 環境影響評価準備書のあらまし

【リーフレット】

(出席者)

県		
都市・交通局都市計画課	担当課長	青柳 克彦
〃	課長補佐	小島 健
〃	主査	岩川 慎悟
建設局道路建設課	課長補佐	堀 芳彦
一宮建設事務所	課長補佐	田中 大樹

国土交通省 中部地方整備局		
愛知国道事務所	事業対策官	水野 裕彰
計画課	建設専門官	川井 雅晴
〃	技官	大野 雄規

一宮市		
まちづくり部都市計画課	課長	木下 卓治
建設部道路課	専任課長	河田 哲郎

## 尾張都市計画道路1・3・2号名岐道路 環境影響評価準備書に関する説明会

- 1 とき 令和5年10月28日(土) 午前10時00分から午前11時45分まで
- 2 ところ 一宮市民会館 大ホール
- 3 参加者 34名
- 4 内容
  - 1)あいさつ
  - 2)環境影響評価準備書の概要説明
  - 3)質疑応答

### 【質疑応答要旨】

質問等要旨	回答要旨
国道22号は原則3車線を確保して、準備工を行うと思うが、工事中も排水性舗装による減音対策は行うのか。また、工事計画に合わせて大気質等の影響も変わると思うがどうか。	工事用車両の運行では、国道22号の中央部分に工事施工場所と国道22号の3車線を確保した現在より民地側に車線を寄せた状況で予測している。 工事中の詳細な工事計画については、事業実施段階で検討し、その段階で説明する。
環境影響の予測結果が基準内に収まるのは当然。騒音で85dB、振動で75dB、日照障害では2階で5時間など、基準を示しているが、それで健康被害が出ないか教えてほしい。	環境影響評価では、国又は地方公共団体による環境保全の観点からの施策によって、基準又は目標が示されている場合は、これらとの整合が図られているかどうか、また、事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているかどうかにより評価している。 供用後において、現時点で予測し得ない問題が生じた場合は、原因を調査した上で、関係機関と協議し、必要に応じて適切な措置を実施する。

質問等要旨	回答要旨
<p>振動による家屋への影響が心配だが、事前と事後の家屋調査はするのか。</p>	<p>現段階で事業者が未定であるため、明言はできないが、一般的には、工事の実施に伴い、影響が生じるおそれのある範囲に立地する家屋等を対象に、事前の家屋調査を行う。</p>
<p>騒音の予測において、工事用車両が運行しても、予測値が現況値から変わらないのはなぜか。</p>	<p>国道22号は現状で6万台/日ほどの交通量があり、予測時における工事計画の工事用車両は各地点で75～134台/日であり、現状と比べて非常に少ないため、工事用車両が運行しても現況値から変化しない値として予測している。</p>
<p>夜間作業を可能な限り少なくすることだが、具体的にどれくらいの期間、夜間作業が発生するのか。また、工事段階での地元への周知はどの程度されるのか。</p>	<p>現段階では、橋梁架設工事で夜間工事の可能性があると想定しているが、事業実施段階において詳細な工事計画を立てないと実際に何日間、夜間工事を実施するかなどの具体的な内容は分からない。</p> <p>工事段階での周知方法については、一般的には、広報や影響のある地域への地元回覧などにより周知する。</p>
<p>周辺住民への情報提供の方針について教えてほしい。大江用水付近の横断ボックス廃止によって、ウォーキングコースが途切れることは、利用者に知られていないと思う。</p>	<p>地元の町内会等を含め、どのような周知方法が良いのか検討していく。</p>
<p>工事着工はいつごろか。</p>	<p>現在、都市計画及び環境影響評価の手続を進めている段階であり、工事着工時期については未定である。</p>
<p>意見書の受付が11月20日までだが、それ以降は意見ができないのか。地域の意見を受け付ける窓口はあるのか。</p>	<p>都市計画の案と環境影響評価準備書の意見書については11月20日までとなっている。</p> <p>意見や心配事は、一宮市まちづくり部都市計画課まで知らせていただきたい。</p>

質問等要旨	回答要旨
<p>138タワーパークへ抜ける道路(県道一宮川島線)は現状で非常に混雑している。工事用車両が通行しないよう配慮いただきたい。</p>	<p>環境影響評価での工事用車両は国道22号、国道155号及び国道155号バイパスを通行するように設定して予測している。</p> <p>詳細な工事計画については事業実施段階で検討するが、できる限り影響がないよう配慮したい。その内容について事前に地元にお知らせする。</p>
<p>名岐道路本線高架部の遮音壁はどうしたら設置してくれるのか。他の道路の例でもほとんど遮音壁がついている。</p>	<p>現在、環境影響評価の手続をしている段階では、基準と予測結果との間に整合性が図られているかどうかで評価している。</p> <p>事業実施段階では皆様の環境に対する声を聞きながら詳細に検討していく。</p>
<p>国道22号の信号現示による、交通混雑が心配されるので、対応してほしい。</p>	<p>信号制御等による交通混雑緩和については、事業実施段階において関係者と検討していく。</p>
<p>取り壊し工のある大江用水の橋台の近くに住んでおり、建設機械の稼働による騒音や粉じんが心配だが、大気質の予測断面になっていないのはなぜか。</p>	<p>建設機械の稼働の予測断面は、施工する工事全体の中で、大気質など環境要素ごとに影響が最も大きい断面を設定している。今回、大気質においては他の断面の方が、より影響が大きいため、当該地点は予測断面となっていない。</p>
<p>過去の工事の経験から、今回の工事でどのくらい騒音が発生するか予測しているのではないのか。</p>	<p>道路環境影響評価の技術手法に基づき、騒音の影響が最も大きい工種を対象として、その工種からの騒音レベル、予測地点までの位置など勘案した予測モデル式を用いて、予測している。</p>
<p>振動や騒音の建設機械の稼働は、具体的にどのような工種を想定して予測しているのか。</p>	<p>予測番号1については、下部工の基礎の場所打杭工、予測番号2については、準備工の大江用水の橋台撤去に伴う構造物取り壊し工を設定している。</p>

(説明会配布資料)

・尾張都市計画道路1・3・2号 名岐道路 環境影響評価準備書のあらまし

【リーフレット】

(出席者)

県		
都市・交通局都市計画課	担当課長	青柳 克彦
〃	課長補佐	小島 健
〃	主査	岩川 慎悟
建設局道路建設課	課長補佐	堀 芳彦
一宮建設事務所	課長補佐	田中 大樹

国土交通省 中部地方整備局		
愛知国道事務所	事業対策官	水野 裕彰
計画課	建設専門官	川井 雅晴
〃	技官	大野 雄規

一宮市		
まちづくり部都市計画課	課長	木下 卓治
建設部道路課	専任課長	河田 哲郎